

一筆啓上
作左通信

第八十四号 平成二十九年七月一日(土)発行

掛川城と直虎ゆかりの地を訪ねて

去る六月十日(土)これ以上無い晴天の中、四十四名の参加者を集め、恒例の研修旅行に参りました。

今回は、徳川四天王の一人井伊直政の養母であり、今年の大河ドラマの主人公である井伊直虎にゆかりのある名所を訪れる旅でしたが、出発早々、東名高速で大事故が発生し、通行止めとの情報が飛び込んできて、どうなることかと心配されましたが、今は新東名があることもあり、ほぼ予定通り、最初の訪問地



掛川城を背にした参加者の皆さん



共保公出生の井戸



小堀遠州作の庭園

「東海の名城」掛川城に着くことが出来ました。

日本初の本格木造天守閣は、勾配が大変急でしたが、多くの方が、最上層まで登り、景色を堪能していました。

お昼を国民宿舎奥浜名湖でいただいた後、浜松市の「おんな城主直虎大河ドラマ館」を訪れ、人間関係やこの土地との関係を皆さん興味深く見学されていました。

そして、ボランティアの方の案内で龍潭寺に場所を移し、まず、直虎の先祖で井伊氏初代となる共保が生まれたと伝わる井戸の説明を受けました。

それから直虎・直政はじめ井伊家代々の墓所をお参りし、いよいよ本堂へ。
うぐいす張りの廊下を渡りながら、左甚五郎作の龍の彫刻はじめ、多くの文化財を目にすることが出来ます。

庄巻は、国指定名勝の庭園で、一見の価値があります。

バスの中でも景品を目指し、クイズやビンゴで盛り上がり、参加者一同、思い出深い研修旅行となりました。